



Rotary Opens Opportunities

吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2660地区

ウィークリー 2020-2021



創立 1980.6.12

事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020

URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp

例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00

会長：由上時善 幹事：木田昌宏 会報委員長：清水大吾

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

第1807回例会(Zoom例会) 令和3年5月24日

今週の歌 「青葉城恋歌」(合唱はなし)

卓話 「会員対談」

坂本 一成 会員

聞き手 橋本 幸治 会員

次回の例会

第1808回例会(Zoom例会) 令和3年5月31日

今週の歌 「愛燦燦」(合唱はなし)

卓話 「優雅な舞を鑑賞して

コロナに打ち勝とう」

権野 結 様

※会報委員会より：1. Zoom例会期間中は例会開催前に当日配付予定の週報をホームページ上に掲載致しますのでご覧ください。2. ホームページの会員専用→新着情報→クラブ会報欄に5月号「ロータリーの友」推奨記事のご紹介を掲載しておりますので、ご覧ください。

前回の記録



会長挨拶

由上会長

皆さん、こんばんは

西川ガバナー補佐、本日の御参加ありがとうございます。又Zoomでの参加で申し訳ありません。後ほど、卓話を宜しくお願い致します。

今日から吹田市のワクチン接種が始まりました。これからワクチン接種をした人が次第に増えてきます。しかしワクチン接種したからと言って油断しないで下さい。

私の先輩でジェイコーのスタッフが居ました。独立行政法人地域医療機能推進機構(Japan Community Health care Organization)で日本全国に57病院があり理事長は尾身茂さんでその先輩はコロナの臨床試験(接種後の副作用の発現などの有無を記録・報告するだけ)に参加したので2月中旬にワクチン接種を受けたとのこと。

その先輩のメールでは、「ワクチンを接種したからといって100%感染しないわけではないので土日の麻

雀は手袋、マスク、face shield着用でやっている」と。

皆さんもワクチンを打ったからと言って油断しないように。

なお、ワクチン接種後に発熱する場合がありますが発熱したら解熱剤を飲んで下さい。

事前に飲むのではなく発熱したら、です。一般の市販薬でも構いません。

吹田市民の高齢者でワクチン接種の予約が出来ていない方は

1. 明日から吹田市内で病院の受付が始まります
42病院以外も接種の予約が可能です
電話予約が難しければ直接病院に行く
2. 他の市町村の病院でも可能
3. 大阪大規模接種センター(グランキューブ大阪)へ。但し、ワクチンはモデルナ社製

最後にロータリー活動ですが先週、警察官にお願いし、子供への交通ルールの講演会を開きました。緊急事態宣言中なのでZoomを使い、木田幹事と木下副委員長が当ホテルで私と仁科委員長は子供の居る施設へ行き、4人だけでの対応でした。今日は映像が流れないかも知れませんが後ほど仁科さんに報告して頂きましょう。

幹事報告

木田幹事

◇ロータリーの友5月号と会報をご自宅にお送りします。又、ロータリー手帳が届きましたので、申し込みされている方には同封しますので宜しくお願い致します。



出席報告

●会 員 数 45名

出席会員数 35名 (全てWeb参加)

●来 客 1名 本日の出席率 94.59%

●5月10日の出席率 (メーキャップ含む) 100%



青少年奉仕委員会

仁科委員長

青少年奉仕事業として、5月12日(水)に大阪西本願寺常照園さんの児童を対象に自転車寄贈と対象児童に自転車の交通安全講習を行いました。

交通安全講習は吹田警察署交通課の太田警部補のご協力をいただき、コロナ禍ですのでZoomにて講習を行い、交通安全を常照園さんの児童に啓蒙し、由上会長から大阪西本願寺常照園の小川園長先生に自転車14台寄贈の目録の贈呈式も行いました。

コロナ禍なので、会員の皆さんの参加は叶いませんでしたが、現地では、児童のイキイキとした笑顔を見る事ができ、コロナ禍ではありますが、皆さんのご協力により、有意義な活動ができたと思います。

当事業の詳細は吹田西RCの会員専用のホームページに掲載しておりますので、ご確認いただければと思います。また第2660地区ロータリークラブのホームページ内の「第3の扉 広報活動」にも掲載予定ですので、アップされましたら、ご案内させていただきたいと思います。





ロータリー希望の扉プロジェクトについて
国際ロータリー第2660地区
西川 正一 ガバナー補佐



5月17日午後6時より、吹田西RCさんの「Zoom」例会に出席させて頂き、参加された約35名の会員の方々に「ロータリー希望の扉プロジェクト」について説明する機会を頂戴出来、感謝申し上げます。ありがとうございました。

1の扉：ロータリアンの希望の扉を開く、が今回の卓話で私が一番お願いしたかったことです。

貴クラブロータリアンとロータリアンファミリーの方々に、その視聴を是非お願いしたいのです。まずは5月29日(土)午後1時30分より、大阪大学石黒浩先生の講演が、続いて6月12日(土)午後1時30分より、ジャーナリスト門田隆将氏の講演がございます。

いずれも第2660地区のホームページに入って頂き、「講演会▶」のボタンをクリックするだけで視聴出来るようになっています。午後1時から入室できます。参加費は無料です。

重ねて、大勢の視聴のほどよろしくお願い致します。

2の扉：こどもたちの希望の扉を開く、と3の扉：

将来のロータリアンの希望の扉を開くにつきまして、貴クラブでは直近にすでにこれに類する奉仕活動と情報発信を実行されておられたことに、私は大きな感銘を受けました。

吹田西RCさんのアイデア力・行動力に敬服します。

すなわち、大阪西本願寺常照園（児童養護施設）のこどもたち向けに、吹田警察署交通課との関係で、例会場のホテルから「オンライン」による自転車交通ルール講習会を5月12日に実施されたことです。5問のクイズ形式を取り入れて、こどもだけでなく由上会長他も楽しみながらの講習会だったとのこと。併せて、自転車14台を寄贈されたとのこと。素晴らしい奉仕活動だなと感心します。それをきっちり、クラブホームページと地区ホームページに情報発信されたのが、さすがです。以上、貴クラブ例会卓話での私の感想です。今後ともよろしくお願い致します。



本プロジェクトの目的

- | | |
|---------------------|---------------------------------------|
| ① ロータリアンの希望の扉を開く | ・コロナ禍にあっても参加できるイベントを企画し、ロータリアンに元気を届ける |
| ② 子どもたちの希望の扉を開く | ・コロナ禍で苦しい思いをしている青少年・子どもたちに笑顔を届ける |
| ③ 将来のロータリアンの希望の扉を開く | ・ロータリー希望の扉プロジェクトの広報活動により認知度をアップする |



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary



① ロータリアンの 希望の扉 を開く

コロナと向き合い、コロナの中で
元気になれる講演会を実施し、
ロータリアンにとっての希望の
扉を開く機会とする。



発信する内容

誰かの希望の扉を開くことができた奉仕活動を地区ホームページなど
デジタル媒体を使って発信する。

- ・講演会を聞いて感動したこと
- ・奉仕活動を実施して感じたこと

※既に終了した奉仕活動であっても発信OK・・・。
※これらの内容をフェイスブックやツイッターで拡散できます。

【子どもたちの顔写真などの個人情報保護には配慮をお願いします】

実施する企画(いずれもウェビナー方式のオンライン講演会)

A.大阪大学石黒浩先生の講演会(5月29日)
『遠隔操作対話ロボットとコロナ後の社会』

B.門田隆将さんの講演会(6月12日)
『コロナが問う!日本の危機管理〜基本に戻って未来へ〜』

いずれも 開会:13:00 講演開始:13:30(予定)

講演会開催に係る費用はすべて地区負担
ロータリアンとロータリーファミリーが対象

参加の仕方は自由 希望の扉を 開けよう!

OK 奉仕活動のための原資集めのために、
チャリティBOXを回し、子どもたちの奉
仕活動を実施する

クラブ予算の余剰金を拠出し、子ども
たちへの奉仕活動を実施する

OK RACと合同で講演会後のオンライン交
流会を実施し、新たな奉仕活動を相談
し実施する



② 子どもたちの 希望の扉 を開く

コロナ禍で様々な苦難に直面す
る青少年・子どもたちを対象にし
た奉仕活動を実施し、それぞ
れの希望の扉を開く機会とする。



例1)児童養護施設の子どもたちへ

📌 外への扉を開くための配信設備基本セット詳細

A:施設側全体を相手に見えるようにしたい場合
ライブ配信

ノートパソコン1台、カメラ2台、スイッチャー
ネットスピーカー1台、プロジェクター1台、スクリーン1台 約22万円～

B:だれか一人が相手とやりとりしたい場合
家族とのリモート通話(ひとり)、双方向通話など

ノートパソコン1台、ヘッドセット1台、簡易型個室テント 約12万円

C:2、3人が相手とやりとりしたい場合
家族とのリモート通話(兄弟姉妹)、双方向通話など

ノートパソコン1台、ネットスピーカー1台、簡易型個室テント 約15万円

📌 必要となる費用に足りない分は、お持ちの設備を貸していただくようお願いし、ま
ず、必要となる設備に足りない分は、お持ちの設備を貸していただくようお願いし、ま
ず、必要となる設備に足りない分は、お持ちの設備を貸していただくようお願いし、ま



奉仕活動の参考例

対象例1 児童養護施設の子どもたちへ

・児童養護施設にたとえば**オンライン機材**を寄贈し、オンラインで
外と接する機会をプレゼントする など。

対象例2 ひとり親家庭の子どもたちへ

・ひとり親家庭の子どもたちに支援団体を通じて支援を行う など。

対象例3 大阪在住の留学生へ

・コロナ禍でアルバイト収入が絶たれた留学生に支援を行う など。

これらの奉仕活動詳細は、ガバナー補佐までお問合せ下さい

例2)ひとり親家庭の子どもたちへ

📌 未来への扉を開くための援助方法

A:金品寄贈による方法

大阪府下のひとり親世帯に対し、金品寄贈を実施しているNPOに寄贈す
る方法(寄付でも金品寄贈でも可)

認定NPO法人 グッドネーバース・ジャパン
HTTPS://WWW.GNUP.ORG/WORK/DOMESTIC/GOHAN/

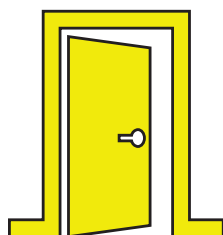
大阪府下のこども食堂に直接寄贈する方法

支援先については裏紙をご確認下さい。なお、コロナ下での実施状況に
ついては各食堂に直接お問い合わせください。



③ 将来の ロータリアン 希望の扉 を開く

地区HPI希望の扉プロジェクトなど
のデジタル媒体を通じて情報発信す
ることで、若年層に対してもロー
タリーの認知度をアップする。



例3)大阪在住の留学生たちへ

📌 未来への扉を開くための援助方法

A:金品寄贈による方法

ロータリアンを通じて直接留学生に寄贈品を寄贈

独立行政法人日本学生支援機構
大阪日本国教育センターで学ぶ留学生(約100名)に対する寄贈

来山奨学生学生会(関西)など、ロータリー学友を通じての寄贈

それぞれのクラブがお世話された来山奨学生を通じてコンタクトされるか、
学生会に直接コンタクトを行い、寄贈の可能性を徹底してください。

